

《一人ひとりの意思と努力によって、原発のない安全な社会を実現させよう！》

『さようなら原発 1000 万署名』は、2012/07/29 集計 + オンライン署名増加分 = **7859,637** 人分になっています。1000 万筆達成まで続けられます。以前断られた人にも、再度呼び掛けてみましょう。

真実を知ろう！ 8.5 講演会『1号機は津波前に壊れていた』

—国会事故調委員・調査員が語る福島原発事故の真相—

日時：8月5日(日)・開場18:00・開演18:15 / 会場：文京区民センター・3A会議室 (地下鉄「大江戸線」・春日駅A2出口より徒歩1分) / 講師：伊東良徳さん (国会事故調調査員・弁護士)・田中三彦さん (国会事故調委員・科学ジャーナリスト) / 参加費：1,000円
主催：「終焉に向かう原子力」実行委員会 / 問い合わせ：TEL&Fax・03-3739-1368、携帯・090-9137-2437

再稼働シナリオの

真相を考えよう！

大飯原発では、7月5日の3号機に続いて7月25日午前1時、4号機もフル稼働しました。関西電力の八木社長は、次なる再稼働候補として福井県の高浜原発3・4号機を挙げています。愛媛県の伊方原発3号機(四国電力)、(北海道電力)泊原発1・2号機も候補です。5月5日から国内原発全50基が停止していた約2カ月間、電力不足は起こりませんでした。が、それでも政府は「国民生活を守るため」と言って、再稼働を決定。反発する市民は毎週末、国会周辺で抗議行動を繰り返しています。何故、誰のために、再稼働は必要なのか。昨年8月16日のTV『報道ステーション』で、当時の自民党・石破茂政調会長は、「日本以外のすべての国は、原子力政策というのは核政策とセットです。日本は原発保有によって(核を)作ろうと思えばいつでも作れる。それはひとつの抑止力でしょう。」と発言しました。『さようなら原発の会』呼び掛け人の一人・内橋克人さんは、昨年9月の脱原発6万人集会と今年7月の10万人集会とで次のようなスピーチをしました。「今、技術の進歩によって、より安全な原発が作れるという安全神話の改訂版が出てきた。核武装が可能な潜在力を持ち続けたいという政治的意図だと思えます。」7月28日、原水爆禁止世界大会が福島市で始まりました。福島での開催は、福島原発事故を受けて昨年に続き2回目で、約10500人(主催者発表)が参加。8月6日、9日を前にして、私達はこのような視点から再稼働問題を考えることも大切ではないでしょうか。

放射能市民測定室を！

放射能汚染に対する感受性には個人差があり、内部被曝についても様々な意見があります。誰かが環境への不安を抱いていることは確かです。環境庁と国民生活センターは共同で、昨年8月から今年の3月まで、全国の自治体に放射能測定器を無期限・無料で貸与する事業を展開しました。国の呼び掛けに答えて総計279自治体から394台の申請がありました。5月末から順次配備され、今、各地に放射能市民測定室が誕生しています。

東京都町田市では、子育て世代のお母さん達が切望したのですが、行政はその必要を認めず、測定器貸与の申請を見送りしました。今、若いお母さん達は、測定器購入の募金運動(目標額400万円)を始めました。どうぞ、ご協力をお願いします！
振込：「ゆうちょ銀行・普通00180013418087・町田放射能市民測定室」

「パブリックコメント」の締め切りは

8月12日午後6時です！

政府は「エネルギー・環境に関する3つの選択肢」を示して、原発についての国民の意見を募集しています。7/30付朝日新聞の集計によれば、全国の意見聴取会では、約7割が【2030年までに原発依存度をゼロ%にする】を選択。脱原発を目指す私達は、一人でも多く【ゼロ%】を選んで意見を提出しましょう。詳細は【内閣府 原発パブリックコメント】で検索して下さい。プリントアウトして周囲にも広めましょう！

8.12 小出裕章が語る「原発のない世界へ」

日時：8月12日(日)・開場13:00・開演13:30 / 会場：ティアラこうとう (江東区住吉2-28-36・

「江東公会堂」) 大ホール (東京メトロ半蔵門線・住吉駅A4出口より徒歩4分) / 協力券：500円

主催：脱原発社会をめざす8・12労働者集会実行委員会 / 協賛：平和フォーラム

連絡先：全日本港湾労働組合 (TEL・03-3733-8821) 《人間は放射能と共存出来ない。原発に安全はない。》

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。

毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。